

<取材のお願い>

2023年3月1日

茗溪学園高等学校

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

タイと日本の高校生が地球規模課題にサイエンスで挑む

～未来を担う科学技術人材育成を目指して～

茗溪学園高等学校では3月5日（日）～3月11日（土）、タイのシーナカリンウィロート大学プラサーミット付属校高校から高校生10名、教員1名、計11名を招き、科学技術体験交流プログラムを行います。

本校では2017年から海外提携校との交流を積極的に展開しており、コロナ禍の2020年度以降も、オンラインで理系研究発表会「International Webinar on Science Project」を行うなど、理系教育、国際教育の促進を図ってきました。入国制限が緩和された今、科学技術交流によるさらなる成果を期待して、この理系研究発表会を対面で実施することを企画しました。

プログラムでは、両校の生徒が自ら研究を発表する「研究発表会」や、生徒たちが協働してサイエンス視点でSDGsに挑む「Group 4 Work Project」のほか、筑波大学・JAXA 筑波宇宙センター・Cyberdyne 社・産業技術総合研究所などを訪問して、最先端の研究を実際に体感します。また、浅草訪問や、書道等の体験により日本文化に触れる機会も設けました。さらに、プログラム期間中、学生寮に宿泊し、バディ役の本校生徒たちと共同生活をすることで、国境を越えた親密な人間関係、友好関係を築きます。多様な価値観を持つ人々と共に生活し、協働で地球規模の課題に取り組む経験は、両国の生徒たちにとってかけがえのない時間となり、将来、国境を越えて、グローバルな視点で科学技術、イノベーションの発展に貢献する人材の育成に繋がることが期待できます。

本プログラムは科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費をJSTが支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、研究発表会や、Group 4 Work Projectの様子、日本文化を体験する様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、実施担当の和田利一国際教育部留学生センター長へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

【実施内容】

- 研究発表会
- Group 4 Work Project（両国の生徒が協働でサイエンスの視点でSDGsに挑む）
- 研究機関訪問（筑波大学、JAXA 筑波宇宙センター、Cyberdyne、産業技術総合研究所、）
- Team Lab 訪問 ●浅草訪問、文化体験（書道）

【研修日程概要】

- 3月5日（日） 午前 入寮、学校案内
午後 オリエンテーション、学校案内
- 3月6日（月） 午前 研究発表会（プラサーミット高校生徒、茗溪学園生徒）
基調講演とオンライン合同ワークショップ「Using smartphone as IoT sensor」Thamasat 大学 Asst.Prof. Dr.Supachai Vorapojpisut
午後 筑波大学訪問、JRC 部活動参加（SDGs 活動）
- 3月7日（火） 午前 Cyberdyne Studio 見学
午後 JAXA 筑波宇宙センター、産業技術総合研究所訪問、剣道体験
- 3月8日（水） 午前 Group 4 Work Project①
午後 Group 4 Work Project②、書道体験（19:45- 寮内）
- 3月9日（木） 午前 Group 4 Work Project③
午後 Group 4 Work Project 発表会 / SDGs ワーク参加（JRC 同好会）
- 3月10日（金） 午前 浅草訪問
午後 Team Lab 訪問
- 3月11日（土） 午前 離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

茗溪学園高等学校
担当：和田利一

- #### ■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ
- JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
（担当：田中(禎)、太田）